

会報

栗峰

No.17

2022.8.7



栗原市（旧金成町）有壁本陣は、国道4号線一関市との県境

目次

同窓会会長と校長の挨拶	2
各支部の近況 （東京支部・仙台支部・県庁築高同窓会）	3・4
対古高定期戦結果と応援団長挨拶	5
令和4年度総会当番幹事のあの頃	6
令和3年度決算・令和4年度予算報告	7
令和3年度卒業生同窓会学年幹事の紹介と生徒会長挨拶	8



宮城県築館高等学校同窓会

母校への想い

宮城県築館高等学校同窓会

会長 渡邊 一正 (高二十六回卒)

同窓生の皆さん、お変わりごじやうませんか。この3年間コロナの関係で総会を開催できず、大変残念でありました。今年は、何とか感染状況も良くなり、実施することになりました。

さて、我が母校の同窓生は、全国三万五千余名を超えること聞いております。皆さん、それぞれの立場で地域のため、家族のため、一生懸命頑張っている現役世代、そして引退し、のんびり過ごされている先輩方もいらっしゃるでしょう。

そんな生活の中で、時々母校を思い出す場面もあるでしょう。そんな時、我々同窓生の思いは、きつと、一つであり、母校の更なる発展であります。

築高で学んだ子ども達が日本、世界で活躍される姿こそが我々を勇気づけてくれます。コロナ禍で中々思うような活動ができない環境とありますが、この経験が必ずや将来に役立つことと信じております。先生方は、大変でしょうが同窓会は、できる限りの応

援をさせていただきますので、よろしくお願ひします。

最後になりましたが同窓生の皆さんの御健勝、御多幸を心から御祈念申し上げます。

変わりのゆく環境・社会を念頭において



学校長

狩野 秀之

(高三十二回卒)

同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動に様々な形で御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。今年も何卒母校で学ぶ伸びゆく子ども達のために御支援をよろしくお願ひ申し上げます。

新型コロナウイルス感染症のパンデミック、記録的な梅雨明けの早さ、猛暑日の連続等の自然環境の変化、さらには、パンデミックを機会として、これまで創りあげた社会や人間関係等、様々なことに疑問を感じる場面が見られるようになりました。これまでの安定した環境・関係性が変化を始めています。

しかし、地球史をひもとけば、自然

環境においては、温暖化の影響を外したとしても、周期的にこのようなことは繰り返されてきたわけです。それでも人類は、多くの犠牲を払いながらも命を繋いできた種であることに、驚きと共に何がそれを可能にしたのか知りたくなります。

その足跡をつぶさに勉強していくと、大切な時期に命を繋ぐという不変なテーマに対して、例えていうならば、変化した状況に合わせて住む場所や、糧を得る方法を変化させていくというような、状況の変化を受け入れ、これまでやってきた方法に固執しすぎず、柔軟な対応や行動ができた社会や人間の存在が、それを可能にしてきたことが随所に見て取れます。

私は、自戒の念を込めながら、今の社会状況を憂いているばかりではなく、かくいう今の時代を作ってきた一員であるとして状況を受け入れ、地球史からの学びを実践していくつもりです。

まずは、子供達は昔も今も何も変わらない心や能力を随所に持っており、我々より遙かに柔軟な対応や思考ができるという視点を持つことが重要であると感じています。だからこそ、変化

の影響も受けやすいですし、こちらの対応次第で、目を見張るような力が発揮され、表現されていくのです。

彼らとの日々の生活から、若い世代が持っている力が発揮できなくなっているとしたら、我々大人側の伝え方ややり方が硬直している事が原因の一つであると感じています。柔軟な思考と対応が求められる時代の到来です。

職員一同、生徒や保護者の皆様としっかり手を繋ぎ、同窓生・地域の皆様のお力を借りながら、誠に愛おしい本校の子供達ならず、郷里、栗原の子供達の育みを大切にしていきます。失礼、且つ、生意気な事を申し上げますた・・・。

最後になりますが、同窓生の皆様が健やかで充実した素晴らしい毎日を送られる事を祈念いたします。



七十歳、大学教壇に立つ

築館高等学校同窓会東京支部



支部長

駒井 隆治

(高十三回生)

この四月から、東京福祉大学教育学部（池袋キャンパス）で、特任教授として教壇に立っている。忙しいながらも充実している。

一番忙しかった教頭（副校長）時代と同じような生活をしている。三科目5コマに十教職課程の科目を担当している。連日、ZOOM受講生と対面受講生のためにコンテンツ（教材）を作る。

一科目あたりの数時間かかる。これがキツイ。だが、後期も同じ科目をやるので、少し楽になる。これが励みである。キツイが、充実度は高い。「これは天職ではないか」とすら思う。そう思うと仕事楽しくなるから、不思議である。

それに学生ができたかったことができると嬉し。

学生たちも、私のコメントを楽しみにしている。この点では、大学生も小学生と全く同じである。

人は、正当な評価があつてこそ、意欲になるものである。これを改めて実感する日々である。

私は、六十四歳で大学院に進学し、修士（教育）の学位を取得した。校長退職後、これまで若手教員の指導を行ってきたが、今は教員の卵を育てる仕事をしている。「人生百年」。私は、今しばらく「天職」を全うしたいと思っている。



【情報】

令和4年7月9日（土）

KKRホテル東京

東京支部総会・懇親会を実施

70名の参加があり、総会を実施

渡邊同窓会長や狩野校長が出席

古川高・岩ヶ崎高・迫桜高も参加

「臥薪嘗胆」と私

築館高等学校同窓会仙台支部

支部長 笠原 哲（高十八回生）

築館高校に入学したのは昭和三八年（西暦一九六二年）四月、入学式が終わり、漫然としていたら、いきなり応援団からグラウンドに出て整列するよう指示が出、校歌や応援歌の練習が始まった。「腹に力を入れ、力強く大きな声で歌え」と気合が入り、びくびくするやら、畏怖を感じるやら。

しかし、続ける間に男子校らしいその元気と勢いを意気に感じ「築高生になった」という実感が湧いたものだった。応援歌の一節にある「臥薪嘗胆」の意味は、その時、説明されたのかもしれない。「中国の故事で、敗戦の恥をすすぎ、仇を討つこと、労苦を自分に課し、それを重ねること」とである。繰り返す、繰り返す、力の限り歌わせられている間に、その意味が心から感じられ、理解できたように思う。そして男としての心意気と決意が、その後的人生に起こる苦難に立ち向かう姿勢の原動力になると確信しました。

高校三年に進級する直前の春休み、

仙台の予備校で受験対策コースを受けた時、風邪をひき、高熱と咳がひどくなり築館に戻り、医師の診察を受けたら、「肺浸潤」で、結核の一手手前と診断され、そのままその医院に入院、八月いっぱい入院加療が必要となりました。私にとって初めての大きな苦難。出席日数が足りなく、留年となったら一大事と高校に顔を出して、すぐ医院に戻るといふ事がありました。自分の行く末に大きな不安を感じ、苦しんだこともありましたが「臥薪嘗胆」で乗り越えることが出来たと思っています。

大学入試は、東京の親戚（旧制築中出身）宅に居候、何とか受験は成功、節約のため、卒業式には参加できず、先生方への感謝の挨拶もかなわず、同級生の動向を知ること出来ませんでした。

大学生活が始まった直後、以前から不振だった父の事業の倒産で仕送りはなくなり、4年間、母の陰での援助と先輩に紹介された率の良いアルバイトで乗り越え、単位の取得、クラブ活動の継続も何とか出来ました。

2年の後半からは、厳しい大学紛争が激化、大学が閉鎖されるなど、卒業までの四年間はまさに「臥薪嘗胆」の連続闘争となりました。この間、出会った多くの仲間や先輩方の温かい激励に心から感謝申し上げます。

大学卒業後、茅ヶ崎市の自動車ディーラーで営業を一年経験した後、家庭の事情で仙台での仕事となり、五年間公共事業関連で営業活動。その後、縁があり、衆議院議員の公設秘書として十年、仙台市議会議員として、二十四年四か月。

この間、精一杯頑張ったつもりですが、力不足で多くの皆様に多大なご迷惑をお掛けしたことに心からお詫び申し上げます。

これからの人生は、まだまだ未熟な自分との戦いであり、全てに感謝の貢献ができるよう努力していきたいと決意しています。

- 「臥薪嘗胆」
- 「報恩感謝」
- 「意気軒高」
- 「衆生所遊楽」
- 「世界平和」



新型コロナウイルスにも負けず
産業振興に邁進する同窓生

宮城県庁築高同窓会



会長
千葉 隆政
(高三十二回生)

皆さんこんにちは。今年4月から宮城県庁築高同窓会（県庁築高会）会長を拝命した千葉です。

2年前から経済商工観光部長という職に就き、3年目になります。この間、当部では新型コロナウイルス感染症に伴う企業支援が大きな仕事になりましたが、元来の任務である産業振興は村井県政の「丁目一番地」。コロナの厳しい環境下でも、産業振興の仕事に邁進してきた仲間達を紹介したいと思います。

まずは、今年3月まで企業復興支援室長を務めていた二階堂幸一さん（三十二回卒業館）は、グループ補助金の責任者として、東日本大震災等からの企業の再生に向け、大きな役割を果たしました。一階堂さんの企業の立場に

立った親身な対応ぶりには、頭の下がる思いでした。産業立地推進課長の白鳥成英さん（三十四回卒業志波姫）は、企業誘致の責任者として、毎週のように県内外を飛び回っています。彼の明るいキャラクターと企業誘致のプロフェッショナルリズムは比肩する存在が無いとも言われています。

コロナウイルスの影響を大きく受けた観光産業の復活に向けては、観光政策課長の柳澤宏さん（三十六回卒業若柳）が、観光回復戦略の取組の推進や新たな観光戦略プランの策定などに獅子奮迅の働きをしております。職員の力を引き出し、出来る限り活かそうとする姿勢は、現代に求められる上司像かも知れません。隣の観光プロモーション推進室では、総括室長補佐の千葉文宏さん（四十回卒業若柳）が具体的な観光客誘致のため、日々汗を流しております。スペシャリストの室長の存在を活かそうと、名バイプレーヤーぶりを発揮しています。

この他にも、部内全体を統括する経済商工観光総務課に総括課長補佐

佐の伊藤光也さん（三十八回卒業館）や那須貴仁さん（六十三回卒業）、観光政策課には、浅野恒志さん（三十二回卒業館）や佐藤魁斗さん（六十八回卒業館）といった新旧の母校を卒業した多士済々の先輩たちも当部に所属しており、それぞれの持ち味を遺憾なく発揮し、日々の業務に精勤してもらっております。

さらに、みやぎジョブカフェでは、佐藤幸徳さん（四十回卒業一迫）が、責任者として、工夫を凝らしながら若者の雇用支援にあたっております。

私が就職した1985年の頃は、築高同窓会の先輩は、時の副知事の故津軽芳三郎氏（旧制第三十六回卒業一迫）を筆頭に、1学年当たり、数十人が在籍し、宮城県庁最大派閥といわれていました。

今では、かなり仲間が少なくなってしまうようですが、経済商工観光部のみならず、県政の要所要所で、同窓生が今でも大活躍していることをお伝えし、結びとします。



2022 臙紫定期戦

令和4年度の結果

結果		築高	古高	
サッカー	●	0	1	○
バスケットボール (男子)	○	69	47	●
バスケットボール (女子)	●	43	58	○
バレーボール (男子)	●	0	2	○
バレーボール (女子)	○	2	0	●
卓球 (男子)	●	2	3	○
卓球 (女子)	●	1	2	○
剣道 (男子)	●	0	4	○
剣道 (女子)	○	2	1	●
ソフトテニス (男子)	●	1	4	○
ソフトテニス (女子)	●	2	3	○
バドミントン (男子)	●	2	3	○
バドミントン (女子)	○	5	0	●
総 合	●	4	9	○

※今年度は、野球、綱引き競技が中止となった。



毎年4月末に兄弟校である宮城県古川高等学校との伝統行事である古高定期戦は、北部地区総体(5月半ば)・県総体(6月初め)・東北総体(7月)・インターハイ(8月)の前哨戦として行なっている。この行事に向け、新入生は朝昼放課後の応援練習に励み校歌、他数曲の応援歌を覚え築高生の自覚と誇りを身につける。本校入学の登竜門であり、最大イベントでもある。競技種目は13種目で行われ、勝ち越した方が総合優勝となる。競技以外にも両校生徒会長による舌戦や両校応援団による応援合戦なども見物である。ちなみに応援団長は、生徒会役員の中から選ばれ、伝統のあるエールをきる。

伝統の繋がり

応援団長 佐藤大翔

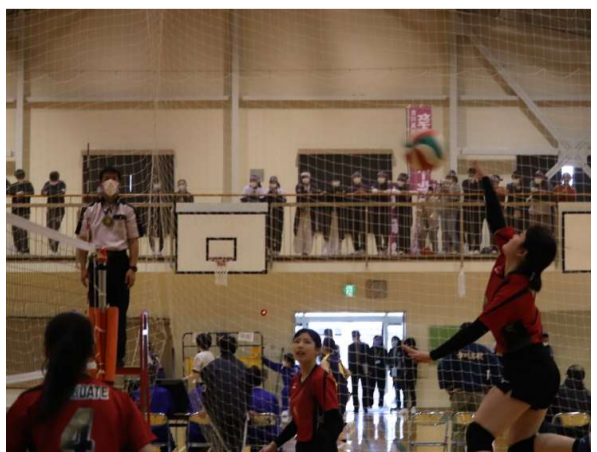


最初に、今年で六十三回を迎えた「対古川高校定期戦」を開催できたことに喜びを感じている。また、コ

ロナ禍に様々な感染対策を考え、開催に向けて、ご尽力してくださった全ての方々に感謝を申し上げたい。我々は、昨年7勝6敗で古川高校に勝利した。しかし、コロナ禍ということで声高らかに凱歌を歌い上げることは、叶わなかった。そして、今年こそはと思ったが、4勝9敗で敗北してしまった。しかし、選手諸君・応援生徒諸君らは、よく頑張ってくれたと思う。

この敗北は、負けの証ではない。皆で戦い、精一杯頑張った証である。しかし、敗北というのは、やはり悔しいものである。今年の定期戦で相手選手から吸収したものを磨き上げ、来年こそは、我々築館高校が勝利し、凱歌を声高らかに歌うことができる信じている。私自身応援団長となり一番身に染みて、感じたことは、伝統の繋がりである。生徒会の仲間と定期戦開催に向けて頑張っていく中で、こうして、歴史や伝統が紡がれていくのだと感じた。応援団長をさせていただいたことに感謝したい。

最後に佐藤澄隆先生をはじめ、我々築高生を支え、応援してくださったOB・OGの方々全ての皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。





令和4年度総会

当番幹事のあの頃



令和3年度同窓会本部会計・総会決算

令和3年度 宮城県薬師高等学校同窓会 会計決算書

3月末現在

1 収入総額 995,479円
2 支出総額 853,429円
3 残 額 142,050円

1 収入の部 単位:円

項 目	本年度 予算額	本年度 決算額	比 較		備 考
			増	減	
1 会 費	500,500	498,300		2,200	1,100円 × 433名
2 繰越金	403,179	403,179			前年度繰越
3 雑収入	3,221	4,000	679		同窓会誌販売1冊
合 計	907,900	905,479		1,521	

2 支出の部

項 目	本年度 予算額	本年度 決算額	比 較		備 考
			増	減	
1 運営費	178,000	41,800		136,200	
(1) 事務費	40,000	31,250		8,750	事務用品購入
(2) 通信費	20,000	10,350		9,650	資料等送料
(3) 旅費	118,000	0		118,000	
2 会合費	195,000	93,566		101,434	
(1) 役員会費	18,000	1,700		16,300	役員会代金
(2) 支部会費	63,000	0		63,000	
(3) 入会式費	124,000	91,866		32,134	入会式記念品代
3 生徒支援費	200,000	114,415		85,585	法政生協への支援、朝陽校定食費
4 広報費	150,000	0		150,000	
5 事業費	150,000	103,608		46,392	高校入試対策直前学習会費用
6 渉外費	2,000	0		2,000	
7 雑費	11,000	0		11,000	
(1) 郵便費	10,000	0		10,000	
(2) 雑費	1,000	0		1,000	
8 予備費	29,000	0		29,000	
合 計	907,900	853,429		54,471	

3 次年度繰越金

総収入額	総支出額	差引額	備 考
995,479	853,429	142,050	

監 査 報 告 書

令和4年1月1日現在の通帳及び関係書類を申請監査したところ、いずれも適正に処理されていることを認めます。

令和4年4月17日

宮城県薬師高等学校同窓会会長 櫻

監事 佐々木嘉郎 櫻
監事 千葉由美子 櫻

令和3年度 宮城県薬師高等学校同窓会(総会) 会計決算書

1 収入総額 408,113円
2 支出総額 3,612円
3 残 額 404,501円

1 収入の部 単位:円

項 目	本年度 予算額	本年度 決算額	比 較		備 考
			増	減	
1 会費	615,000	0		615,000	
(1) 前売券	600,000	0		600,000	3,000円 × 0人
(2) 当日券	15,000	0		15,000	3,000円 × 0人
2 繰越金	411,893	408,113		3,780	前年度繰越し分
3 雑収入	107	0		107	
合 計	1,027,900	408,113	0	618,887	

2 支出の部

項 目	本年度 予算額	本年度 決算額	比 較		備 考
			増	減	
1 総会費	750,000	0		750,000	
2 通信運搬費	50,000	3,612		46,388	実行委員会開催中上道給付金徴収代
3 消耗品費	20,000	0		20,000	
4 印刷・広告費	35,000	0		35,000	
5 予備費	172,000	0		172,000	
合 計	1,027,900	3,612		1,024,288	

3 次年度繰越金

総収入額	総支出額	差引額	備 考
408,113	3,612	404,501	次年度繰越しとする

監 査 報 告 書

令和3年度宮城県薬師高等学校同窓会(総会) 会計について、令和4年4月17日に通帳及び関係書類を監査した結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。

令和4年4月17日

宮城県薬師高等学校同窓会会長 櫻

監事 佐々木嘉郎 櫻
監事 千葉由美子 櫻

令和4年度同窓会本部会計予算

令和4年度 宮城県薬師高等学校同窓会会計予算書

1 収入総額 1,054,000円
2 支出総額 1,054,000円
3 残 額 0円

1 収入の部 単位:円

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		備 考
			増	減	
1 会 費	501,600	500,500	1,100		1,100円 × 456名
2 繰越金	552,050	493,179	58,871		前年度より繰越
3 雑収入	350	3,221	2,871		雑入
合 計	1,054,000	997,900	147,000		

2 支出の部

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		備 考
			増	減	
1 運営費	170,000	170,000			
(1) 事務費	40,000	40,000			事務用品・封筒印刷代
(2) 通信費	20,000	20,000			文書・資料送付代・会報送付代
(3) 旅費	110,000	110,000			支部総会等参加旅費
2 会合費	195,000	195,000			
(1) 役員会費	18,000	18,000			会費
(2) 支部会費	63,000	63,000			支部総会会費
(3) 入会式費	124,000	124,000			卒業生入会記念品、入会式講演謝礼
3 生徒支援費	200,000	200,000			法政生協への支援、朝陽校定食費
4 広報費	150,000	150,000			会報印刷代
5 事業費	150,000	150,000			高校入試対策直前学習会費用
6 渉外費	2,000	2,000			
7 雑費	11,000	11,000			
(1) 郵便費	10,000	10,000			封筒レタックス代
(2) 雑費	1,000	1,000			
8 予備費	176,000	29,000	147,000		
合 計	1,054,000	997,900	147,000		

※予算執行について
支出予算の金額に過不足が生じた場合は、支出予算総額の範囲内で各項目間の金額を改訂することができるものとする。

令和4年度 宮城県薬師高等学校同窓会(総会) 会計予算書

1 収入総額 720,000円
2 支出総額 720,000円
3 残 額 0円

1 収入の部 単位:円

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		備 考
			増	減	
1 会費	315,000	315,000			
(1) 前売券	300,000	300,000	0	3,000円 × 100人	
(2) 当日券	15,000	15,000	0	3,000円 × 5人	
2 繰越金	404,501	408,113	△ 3,612		前年度繰越し分
3 雑収入	499	887	△ 388		
合 計	720,000	724,000			

2 支出の部

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		備 考
			増	減	
1 総会費	600,000	600,000	0		会費・懇親会費・フットボール大会代
2 通信運搬費	50,000	50,000	0		実行委員会及び総会案内
3 消耗品費	20,000	20,000	0		会議費用等
4 印刷・広告費	35,000	35,000	0		ポスター・チケット印刷
5 予備費	15,000	19,000	△ 4,000		
合 計	720,000	724,000	△ 4,000		

※予算執行について
支出予算の金額に過不足が生じた場合は、支出予算総額の範囲内で各項目間の金額を改訂することができるものとする。

令和三年度卒業 同窓会学年幹事の紹介



3年1組 高橋加月

この度築館高校同窓会幹事に選ばれました高橋加月です。伝統ある築館高校同窓会の一員となれて嬉しく思います。私はここから元気なことが取り柄です。これから文化祭実行委員長の経験もあるのだからその力を発揮していきたいです。最後になりましたがこれからの長いお付き合いよろしくお願ひします。

3年1組 藤原優稀

この度同窓会幹事を務めます藤原優稀です。

伝統ある築館高校の幹事を務めるにあたり責任と誇りを持って行動させていきたいと思います。初めのことばに足りない点もあると思いますが一杯努めます。宜しくお願いします。

3年2組 齋藤秀

この度3-2の同窓会幹事になりました、齋藤秀です。部活動はサッカー部に所属し、部長を務めていました。高校生活一番の思い出は、3年ぶりに定期戦で勝利した事です。これから先、多くの壁にぶつかると思いますが、築高生として挑戦し続け、目標達成に向け努力していきたいと思ひます。

3年2組 中山あけひ

初めまして。クラス幹事になりました、中山あけひです。バレーボール部に所属しておりました。分からないことばかりですが、私なりに頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひします。

3年3組 佐々木飛虎

先日卒業いたしました、佐々木飛虎です。ホッケー部に所属し、キャプテンを務めさせていただきました。築館高校の更なる発展を目指し一杯頑張りたいと思ひます。また、築館高校を卒業したことで誇りを持ち、頑張りたいと考えています。よろしくお願ひします。

3年3組 若生真穂

初めまして。クラス幹事になりました、若生真穂です。バレーボール部に所属しておりました。同窓会を通して沢山の方と繋がる事が出来ればと思ひます。よろしくお願ひします。

3年4組 一階堂武蔵

3年4組クラス幹事になりました一階堂武蔵です。生徒会執行部と陸上部に所属し、充実した高校生活を送ることができました。皆々色々なスポーツを楽しむことができた体育祭が一番印象に残っています。皆様、よろしくお願ひします。

3年4組 二浦未来

初めまして。3-4のクラス幹事になりました二浦未来です。この度は、伝統ある築館高校同窓会の一員となれて嬉しく思ひます。私はソフトテニス部に所属しておりました。部活動を通じて学んだことを生かして頑張りたいです。これからよろしくお願ひします。

前進した1年間

生徒会長 平岡 颯斗



感じる毎日だった。

私は、生徒会長に就任してから、責任と不安に押し潰されそうな毎日だった。それでも、頼れる執行部がいつでも笑顔で支えてくれて、どれだけ幸せなものなのか、身に染みて感じた。

定期戦は、肌寒い風の吹く中、古川高校と熱い闘いを繰り広げることができた。我々は、惜しくも負けてしまい2連勝とはいかなかった。応援練習では、辛い思いをしたと思うが最後まで全力でやりきってくれた生徒諸君には、本当に感謝している。

1、2年生の諸君には、来年この悔しさを糧に努力し、栄冠を手にして欲しいと思う。来年も無事に開催できることを共に、3年生一同、勝利を心から願っている。

コロナウイルスの影響はまだ続くだろう。その中で、私たちができることを常に考えて行動することは、この先も求められる。後輩達には、仲間と知恵を出し合い、協力して、新会長を中心によりよい築高を創って欲しい。そして、「なりたい自分」を探し、目指して日々精進して欲しいと思う。

最後に、私は1年間生徒会長として皆さんの経験をさせていただき、伝統を引き継ぐことと共に、自らの成長につながる事ができました。皆さんの支えがあってこそ活動できたと思ひます。本当に1年間ありがとうございました。

編集後記 旧築館高の近所に住む私は、小学生時代から、校庭は遊び場だった。野球部のお兄ちゃん達とブルペンでキャッチボールをしたり、文化祭の学級旗に驚嘆し、巡視の庁務さんに追っかけられ、今でも、耳に「たかん歯」のアスファルトを蹴る音が聞こえる。母校は良いものだ